【4-7 評価シート エビデンス総体】

診療ガイドライン	乳癌診療ガイドライン2018
対象	原発性乳癌の術後薬物療法
介入	経口フッ化ピリミジン
対照	AC/CMF

エビデンスの強さはRCTは"強(A)"からスタート、観察研究は弱(C)からスタート
* 各ドメインは"高(-2)"、"中/疑い(-1)"、"低(0)"の3段階
** エビデンスの強さは"強(A)"、"中(B)"、"弱(C)"、"非常に弱(D)"の4段階
*** 重要性はアウトカムの重要性(1～9)

エビデンス総体

アウトカム	研究デザイン/研究数	バイアスリスク*	非一貫性*	不精確*	非直接性*	その他(出版バイアスなど)*	上昇要因(観察研究)*	リスク人数(アウトカム率) 対照群分母	対照群分子	(%)	介入群分母	介入群分子	(%)	効果指標(種類)	効果指標統合値	信頼区間	エビデンスの強さ**	重要性***	コメント
全生存期間の改善	RCT/4	0	0	0	-1	0		-	-	-	-	-	-	HR	1.24	0.88-1.76	中(B)	9	
無再発生存期間の改善	RCT/4	0	-1	0	-1	0		-	-	-	-	-	-	HR	1.31	0.95-1.82	中(B)	8	
血液毒性の増悪	RCT/4	0	-2	-1	0	0		925	208	22	915	28	3	RR	0.21	0.03-1.42	弱(C)	6	異質性が非常に高い
非血液毒性の増悪	RCT/4	0	-2	0	0	0		923	157	17	915	201	22	RR	1.19	0.67-2.12	弱(C)	6	異質性が非常に高い
脱毛発現率の低下	RCT/3	0	0	0	0	0		57	610	9	616	0	0	RR	0.03	0.01-0.15	強(A)	6	

コメント(該当するセルに記入)

					capecitabineの結果が含まれる													
			異質性あり		capecitabineの結果が含まれる													
			異質性高い	イベント数が少ない														
			異質性高い															